

学びの深まりを実感できる授業へ

今年度の全国学力・学習状況調査は、1人1台端末の活用が始まり、指導方法が大きく見直されつつある中、中学校3年生では、新学習指導要領の内容を反映した初めての調査となりました。また、4年ぶりに理科の調査も実施されました。西部教育事務所では、質問紙や調査問題の結果を分析し、西部管内の傾向とその改善策について、以下のようにまとめました。

自校の分析結果や改善策及び以下のポイントを改めて意識し、児童生徒が学びの深まりを実感できるような授業にしていきたいと思います。

【質問紙と調査問題の結果より】

<質問紙>

種類	設問	質問事項	全国比
学校	小:59 中:57	1人1台端末を活用した授業の頻度	小: +14.0 中: +26.3
学校	小:32 中:32	地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材とする	小: -4.2 中: -10.9

<調査問題> ~全国と比べて課題のあった問題~ 小学校

教科	設問	問題の趣旨	全国比
算	2(3)	示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している	-1.0

中学校

教科	設問	問題の趣旨	全国比
理	7(1)	液体が気体に変化することにより温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できる	-1.2

学校では、1人1台端末の活用が進み、様々な工夫を凝らした授業が積極的に行われています。

一方で、学習の題材について、**身の回りの生活や社会と関連させて単元構想すること**に課題が見られました。

小学校算数2(3)の問題では、授業で学んだ「割合」の学習内容が、日常生活でジュースを2人で分ける場面と結び付けられずに、「分ける＝除法」だと思い込み、問題場面に応じて式を活用できていない等と考えられます。



単に個々の知識及び技能として習得させるだけでなく、**相互に関連付け、生きて働く知識及び技能として活用すること**に課題があります。

中学校理科7(1)の問題では、授業で学んだ、水が蒸発する「状態変化」が温度が下がる要因であると考えられなかったり、示された自然事象を水の蒸発と同様な「状態変化」として捉えられなかったりしていると考えられます。

参考資料：群馬県教育委員会発行
・「全国学力・学習状況調査」の児童生徒向け解説動画
・小・中学校 指導の充実 STEP1・2・3!!



授業改善のポイント

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の更なる充実のために、単元（単位時間）の学びのつながりを意識することが大切です。**日常生活との関連を図りつつ、児童生徒自身がこれまでの学習を振り返りながら問題を解決していくように単元を構想することで、学びの深まりを実感できる授業となります。**

ポイント1 「学んだこと」と「日常生活」をつなげる

単位時間や単元を通して、児童生徒が具体的場面をイメージしながら考え、概念的な理解につなげることができるよう、**学んだことを日常生活と関連付けて活用させる場面を設定**しましょう。

面積の学習では、陣取りゲームでの実体験を生かそう。長さで学習した単位量当たりの考え方が活用できそう。



ポイント2 児童生徒自身に学びを振り返らせ活用させる

1人1台端末に保存されている**スタディ・ログ（学習履歴）**を活用し、児童生徒自身がこれまでの学習を振り返ることができるようにしましょう。総合的・教科横断的に学びを深めるために、**以前の単元等で学習した内容や他教科で学んだことなどを自由に見直したり、簡単に引用したりできる環境を整えておく**ようにしましょう。



前の時間に学習したことが、今日の授業でも使えそうだな。

リモート授業をピンポイントで活用

群馬県では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る上でICTを活用した空間的・時間的な制約を超えた学び（「ICTを活用した群馬ならではの新しい学び」）を推進しています。

その実現のため、西部教育事務所生涯学習係では、次世代型のリモート授業『リモピン』の普及を進めています。

学習に必要な場面のみ教室と社会教育施設等をオンラインで結び、ピンポイントで活用する授業を西部教育事務所では『リモピン』と呼んでいます。

『リモピン』を活用することによって、博物館などにある実物を教室のパソコンやタブレットの画面を通して手軽に見られるので、**より児童生徒の学習意欲を高める**ことができます。また、実際に施設の職員の話が聞けるので、児童生徒の**専門的な疑問にも対応できます**。さらに授業中の必要な部分のみピンポイントで依頼できるので、教材研究や授業準備、講師との打合せ時間の短縮など**教師の負担軽減**にもつながります。

【リモピンの活用例】



歴史博物館

「埴輪」って昔の人が作った人形でしょ？

「埴輪」には1つ1つに重要な役割があるんだ。埴輪を理解するには「ストーリー」に着目だよ。



「富岡製糸場と絹産業遺産群」はなぜ世界遺産なの？

それは日本の技術が「世界を変えた」からだよ。その理由に迫るために当時の様子を見てみよう。



「安中で新種のイルカの化石発見」って不思議だなあ！

「地球は生きている」。地球のダイナミックな営みが答えのヒントになるよ。



世界遺産センター



自然史博物館

「地域の人的・物的資源の活用」って、こういうことだったんだあ。

先生



歴史博物館と教室をオンラインでつなぐ

歴史の学習の導入で『リモピン』を実践した小学校6年生の授業後アンケートでは、授業開始前、歴史を学ぶことに消極的だった児童の多くが「歴史に興味をもった。」と答えおり、学習意欲の高まりが見られました。また、児童の大半が「実物を見てみたいと思った。」「博物館に行ってみみたいという気持ちが高まった。」と答えるなど、『リモピン』が学習の導入として有効であったことがわかります。

左の写真は古墳時代の銅鏡について博物館職員が説明しているところです。教科書では装飾面しか見ることができないので、実際に鏡面を見た子どもたちは、「本当に鏡だったんだあ」と驚いていました。

リモピン実施についてのご質問やご相談は、以下の社会教育施設へ直接連絡いただくか、西部教育事務所生涯学習係にご連絡ください。

＜リモピン実施可能社会教育施設一覧＞

県立歴史博物館・県立自然史博物館・県立土屋文明文学記念館・県立世界遺産センター
(教育普及係) (教育普及係) (教育普及係) (普及調査係)